



スバル工業株式会社

新たな取り組みを続け
未来につながる製造業を
目指します。

8

働きがいも
経済成長も

📍 館林市

住 所 館林市日向町841-1
T E L 0276-74-6746
M a i l info@subaru-industries.com
U R L https://subaru-industries.com/index.html

代表者 野村 秀則

設 立 1977年2月25日

資本金 1,000万円

従業員 14人

WEBサイト



🏢 企業紹介

当社は1977年の創業以来、医療・自動車・産業機械など、多種多様な金属部品の切削加工に従事しています。自動旋盤(NC旋盤)による高精度の切削加工技術を用い、多品種・少量のニーズに応えることのできる企業として、群馬県立群馬産業技術センターとの共同研究を踏まえ、新しいことへチャレンジしながら創造性豊かなものづくりに取り組んでいます。

➡ 経緯・背景

製造業での人手不足が続く背景として、技術習得の難しさ、労働環境の不平等などが問題となっています。熟練技術から技術の標準化へ。熟練技術者から外国人労働者へ。フルタイムからパートタイムへ。デジタルツールを活用しながら作業環境・働き方をイノベーションし、働きやすい環境を提案・実現していくことで、ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）に繋がっていくと考えています。

新しいことへの好奇心で、
製造技術を皆の手で
創りあげていきます。

📄 具体的な取組・成果

スバル工業では、自社独自のシステム構築によるデータベース化を進め、様々なデータをスムーズに共有することで、作業の効率化・生産性の向上・品質の向上を目標に、お客様のニーズに素早い対応が可能となるよう取り組んでいます。CAD/CAMによるプログラム作成は、干渉チェックのパソコン上でのシミュレーションが可能であり、作業者が安心・安全に作業を行うことができるようになりました。NCオペレーターとCAD/CAMオペレーターで作業分担することで、効率UP。生産性の向上にも繋がっています。一人の作業者に作業が偏ることの無いよう、フルタイム、パートタイムにかかわらず従業員全員にCAD/CAM習得の機会を設けました。これは、スキルアップの指針となり個々のモチベーションにもなっています。



CAD/CAM トレーニング

また、現場作業の教育では、現行の手順書を動画に置き換えホロレンズを活用して実際の作業を皆で確認し合うなど、外国人労働者でもわかりやすく覚えられるように新たな取組にチャレンジしています。



ホロレンズを使用した取り組み



ホロレンズによってMR（複合現実）を体験できる



現場作業員のディスカッション

当社にとってのSDGsビジョン

SDGsにおける【持続可能な経済成長、雇用およびディーセント・ワーク】を重ね、当社の企業理念である【創造・協調・共有】をもとに、個々の成長と働きやすい環境を皆で考え企業の発展に邁進してまいります。

今後の展望と求めるパートナー像

ものづくりにおける概念の見える化をデジタル技術を活用して取り組む企業と協調・共有し共に成長を目指します。